

柏市男女共同参画推進計画（後期）報告書

－ 平成27年度 実績報告 －

柏 市

柏市男女共同参画推進計画の推進状況について
基本課題Ⅰ～Ⅵの平成２７年度の進行状況・実績を報告いたします。

平成２９年 ３月

目 次

	P
基本課題Ⅰ 人権	1
目標１ 男女の人権を尊重するための環境づくり	
目標２ 女性の生涯を通じた健康支援	
基本課題Ⅱ 教育・学習	9
目標３ 男女平等の視点に立った意識改革と社会制度・慣行の見直し	
目標４ あらゆる場での男女平等教育・生涯学習の推進	
基本課題Ⅲ 家庭・地域	17
目標５ 男女が共に参画する家庭・地域づくり	
目標６ 男女が安心して子育てできる環境づくり	
目標７ 高齢者・障害者への社会的支援	
基本課題Ⅳ 就労	24
目標８ 職場における男女平等の推進	
目標９ 女性の職業能力の開発と就労機会の拡大	
目標１０ 男女が職業生活と家庭生活を両立できる環境づくり	
基本課題Ⅴ 社会参画	31
目標１１ 政策・方針決定過程への女性の積極的参画と登用促進	
目標１２ 防災・災害復興への女性の参画	
基本課題Ⅵ 推進体制	36
目標１３ 「男女共同参画推進計画」推進のための方策	

基本課題Ⅰ 人権（女性の人権及び性を尊重する）

目標１ 男女の人権を尊重するための環境づくり

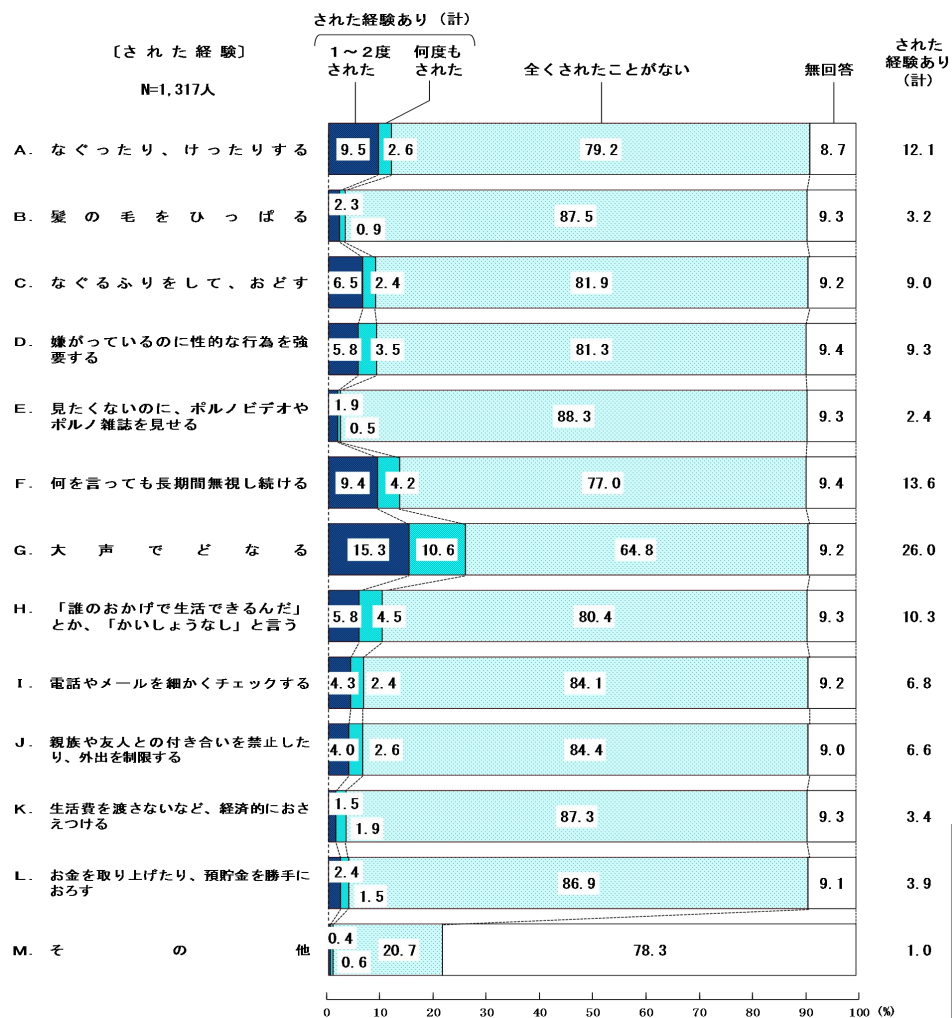
人権尊重の環境づくりのために、次の施策に取り組みました。

- （１）女性に対するあらゆる暴力の排除
- （２）メディアにおける女性の人権の尊重
- （３）国際社会における男女平等の推進
- （４）人権の尊重と心の健康支援

状況

女性男性とも、配偶者や恋人など、パートナーからの暴力などの被害経験がある人がいることがわかっています。

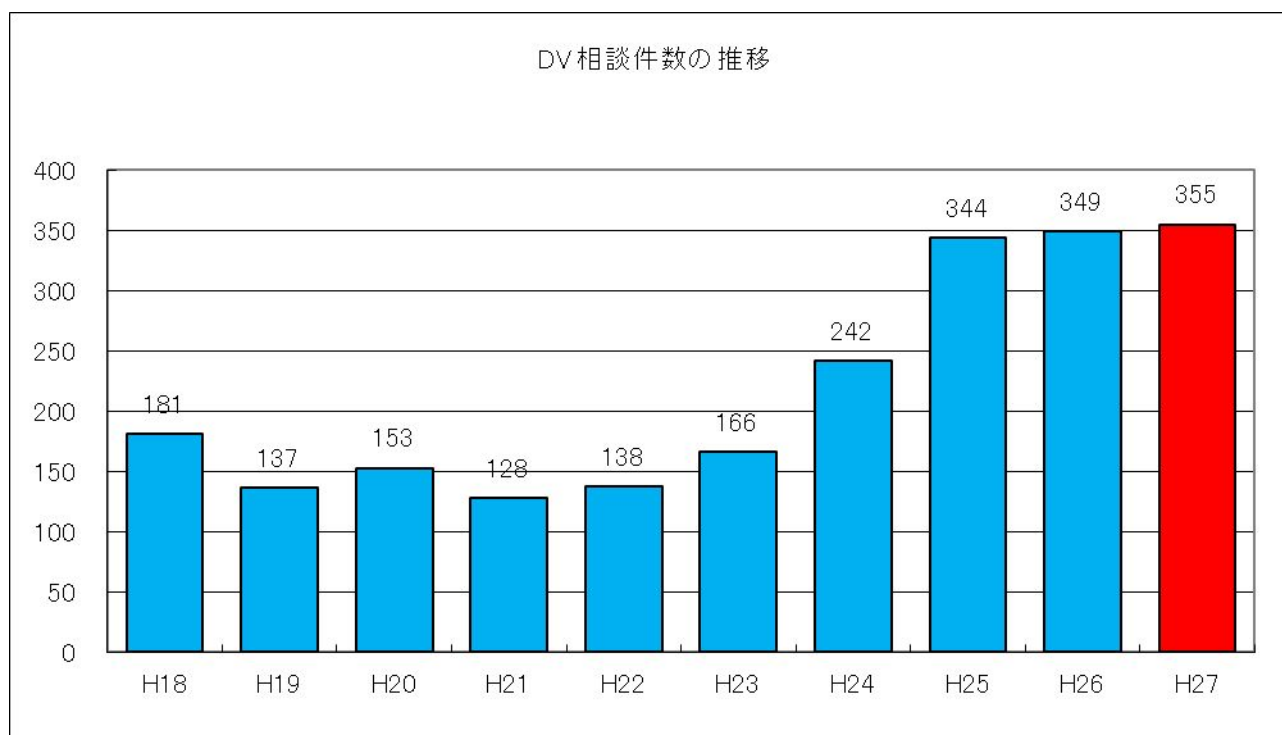
配偶者（事実婚や離別・死別を含む）や恋人などのパートナーに、次のような行為をされた経験について



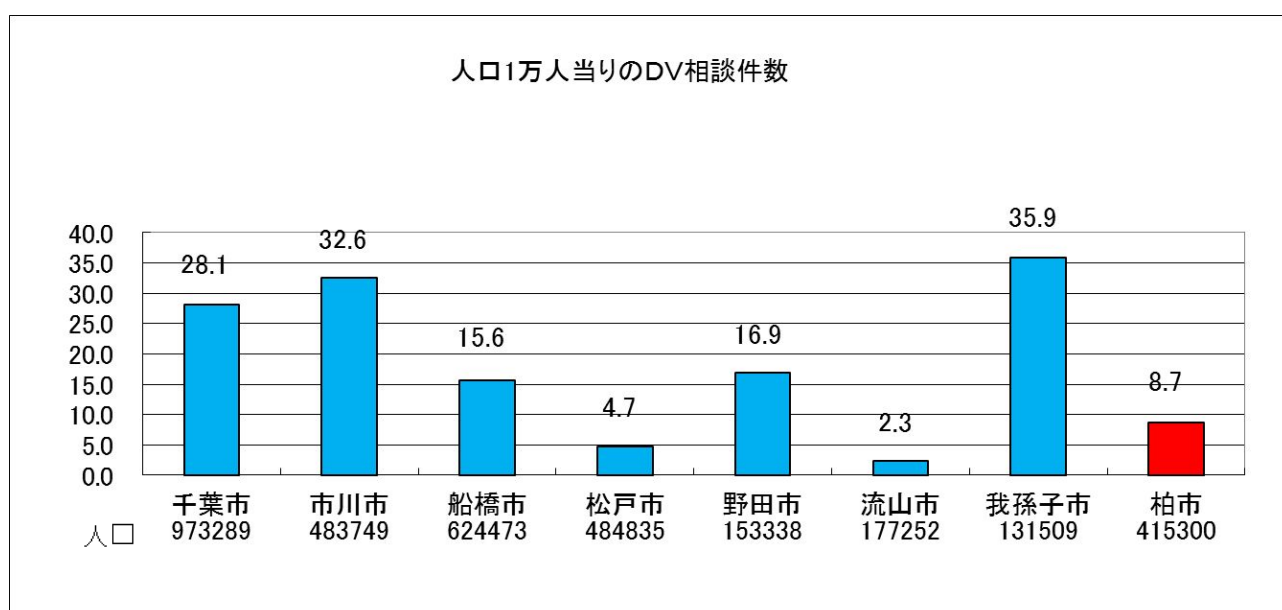
柏市においても、DV被害についての相談が多く寄せられており、平成27年度は355件の相談がありました。また、平成25年度から年間約300件の相談があり、依然として増加にあります。

相談にあたっては、相談者の気持ちに寄り添うことを心がけ、必要に応じて千葉県女性サポートセンターや柏警察署等の関係機関と連携して対応しています。

また、女性に対する暴力をなくす運動期間（毎年11月12日から11月25日まで）を中心に啓発を行っています。



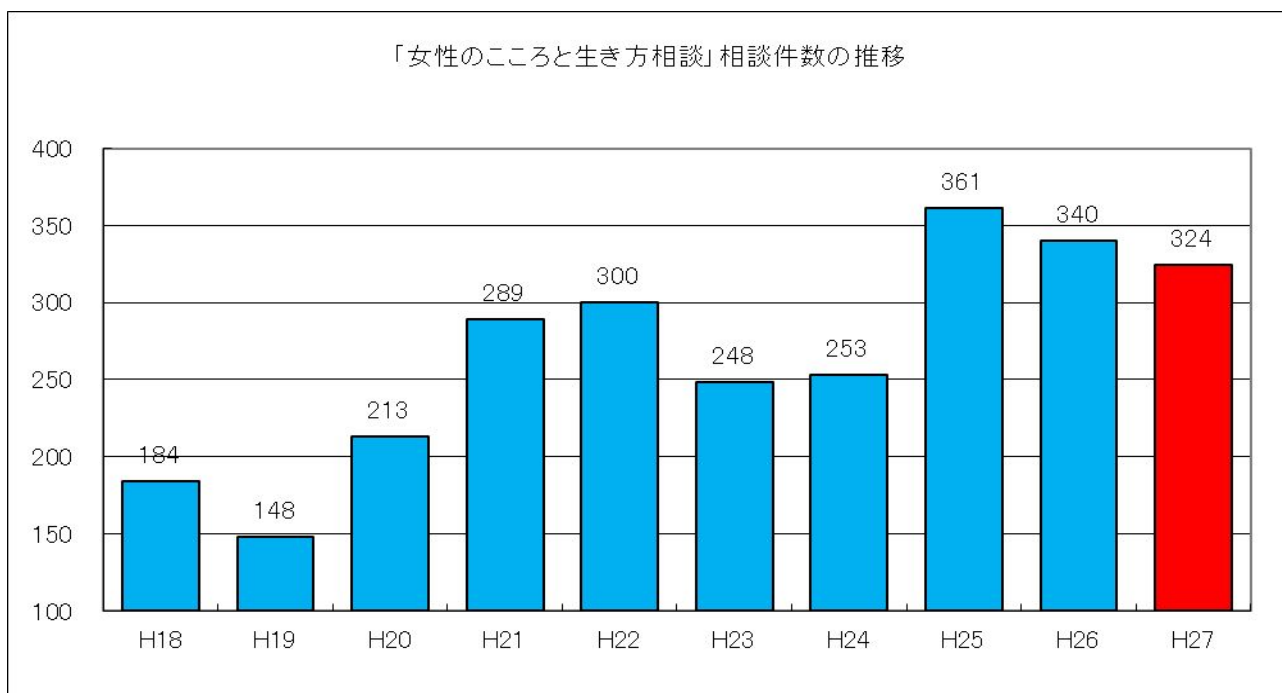
近隣市及び県内の人口上位3市の状況を見てみると、人口1万人当りのDV相談件数は次のとおりです。千葉市、市川市、野田市は、配偶者暴力相談支援センターを設置しています。松戸市には、県のDV相談専用窓口（松戸健康福祉センター）が設置されています。



※平成27年度中の相談件数と平成28年4月1日現在の人口から算出

柏市で行っている「女性のこころと生き方相談」では、生き方、夫婦、家族、健康など、女性がさまざまな悩みを抱えている状況が伺えます。

平成27年度は、前年度より相談件数は若干減少していますが、引き続き多い状況が続いています。



特に取り組んだこと

1 DVや各種ハラスメント防止のための啓発ポスターを掲示

女性に対する暴力をなくす運動期間（11月12日～11月25日）に合わせ、市内施設にDV防止に関するポスターを掲示しました。

庁内連携

市役所、近隣センター等
23施設で掲示



▲平成27年度版ポスター

▲リーフレット

2 中高生向けデートDV防止プログラム講演会を開催しました

柏市内の県立高校と中学校で、柏市民公益活動促進基金の支援補助金事業による、デートDV防止プログラム講演会を開催しました。今後も、学校における人権尊重の教育機会を設け、柏市独自の教材「生と愛と性」の活用や市民団体との協働により事業を実施するなど、道徳教育の充実を図っていきます。

庁内連携

3 在住外国人のための外国語による支援を行いました

◇外国人アドバイザー相談

外国人アドバイザーが、在住・在勤・在学の外国人の日常生活や市政に関する相談を行いました。現在、日本語だけでなく、英語、中国語、スペイン語、朝鮮・韓国語で対応しています。

協働推進課

- 柏市オフィシャルウェブサイト 外国人アドバイザー相談に関するページ
<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/400100/p003863.html>

◇外国人に向けた多言語メール配信

柏市で生活する外国人に向け、緊急情報や市政情報を英語、中国語、スペイン語、やさしい日本語で配信しました。

協働推進課

4 関係課と連携して自殺予防対策に取り組みました

◇相談窓口の案内や啓発講座などの自殺予防対策事業

悩み別に相談窓口を紹介したチラシを作成し、各関係機関から配布しました。

また、「こころの健康講座」などの啓発講座や、無料電話相談（４７件）・無料対面相談窓口（７５件）を開設しました。

庁内連携

（その他）

- ・自死遺族支援事業 わかちあいの会ひだまり（６回：奇数月第２日曜日開催）
（保健福祉総務課）
- ・自殺予防対策連絡会議（保健福祉総務課、保健予防課）
- ・精神保健福祉担当者連絡会議にて、希死念慮がある人への相談対応の研修会を実施
（H28.3.1 92人）（保健予防課）

- 柏市オフィシャルウェブサイト 自殺予防対策に関するページ
<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/061600/p007585.html>

推進状況

配偶者からの暴力が人権侵害であると認識する人の割合

	平成 21 年度 意識調査		平成 26 年度 意識調査	平成 27 年度目標
身体的暴力	92.4%	⇒	<u>92.3%</u>	<u>100%</u>
言葉の暴力	88.1%	⇒	<u>89.5%</u>	<u>100%</u>

主な取り組み

(相談)

- ・女性のこころと生き方相談（男女共同参画室）
- ・母子・父子自立支援相談（こども福祉課）
- ・人権相談（広報広聴課）
- ・法律相談（広報広聴課）
- ・市民相談（広報広聴課）
- ・職員向けにセクシュアル・ハラスメントに関する相談・苦情窓口（人事課）
- ・精神保健福祉相談（保健予防課）
- ・英語、中国語、スペイン語、朝鮮/韓国語による外国人相談（協働推進課）
- ・自殺対策として無料の電話相談、面談相談窓口を開設（保健福祉総務課）

■ 柏市インターネット男女共同参画推進センター参画 e y e

女性のこころと生き方相談に関するページ

<http://www.city.kashiwa.lg.jp/sankakueye/3410/p027962.html>

■ 柏市オフィシャルウェブサイト 相談サポートに関するページ

http://www.city.kashiwa.lg.jp/living/counseling_support/index.html

(DV対策)

- ・DV対策関係課との連携強化（男女共同参画室）
- ・母子緊急一時避難、相談支援（こども福祉課）
- ・高齢者緊急一時保護を実施（福祉活動推進課）
- ・緊急一時避難相談対応（男女共同参画室）

(その他)

- ・女性、男性双方に配慮した表現の広報、出版物、ホームページ作成（広報広聴課）

今後の取り組み

- ・母子・父子自立支援プログラム策定事業の継続（こども福祉課）
- ・自殺予防対策講演会等開催（保健福祉総務課）
- ・自殺予防ゲートキーパー養成研修（保健福祉総務課）

目標 2 女性の生涯を通じた健康支援

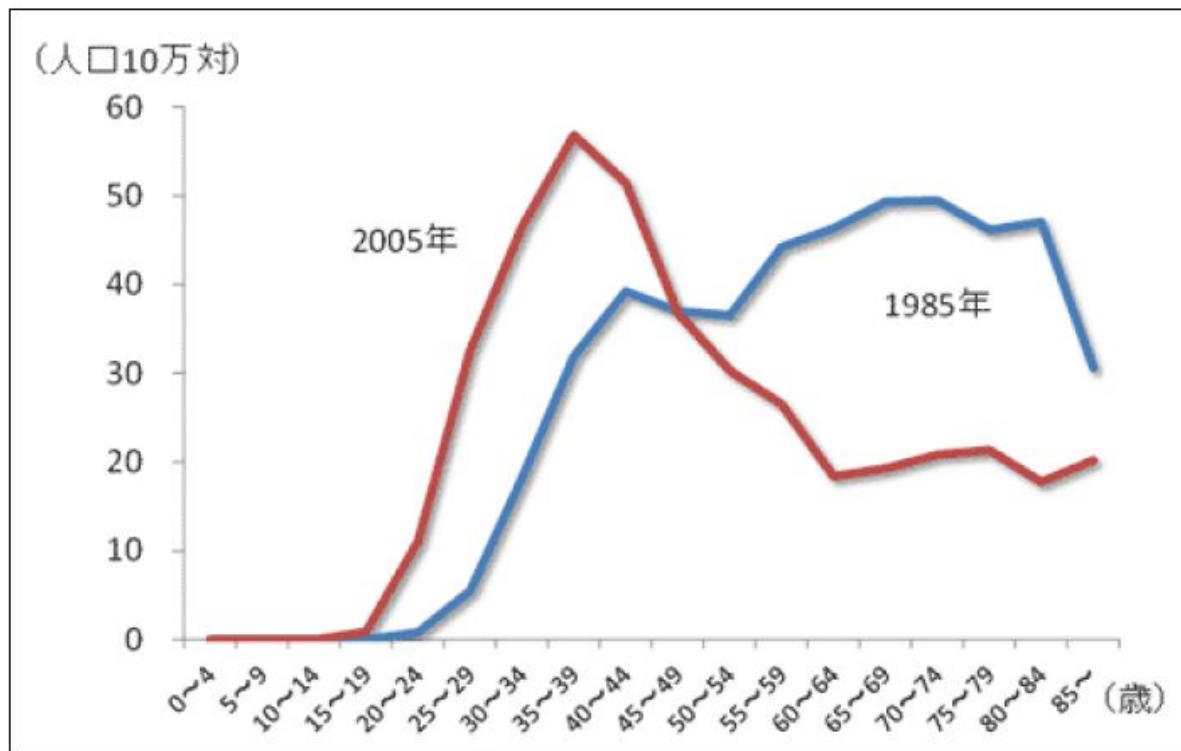
性に対する理解を進めるために、次の施策に取り組みました。

- (1) 性と生殖の健康・権利の理解と普及
- (2) 女性の健康保持と増進

状況

女性も男性も健康に自分らしく過ごせるように、男女の身体的性差を理解しながら健康づくりを目指しています。女性特有の病気のひとつの子宮頸がんは、20～30歳代で罹患する方が増えており、受診を呼びかけていく必要があります。

子宮頸がん（上皮内がんを含む）発生率の推移



国立がん研究センターがん対策情報センター「がん情報サービス」より

特に取り組んだこと

1 乳がん検診に関するイベントを実施しました

◇乳がん検診体験（平成 27 年 10 月 17 日 30 人）

人が多く集まるショッピングセンターで、「はじめての乳がん健診」（乳がん検診体験）を実施して、検診の大切さをPRしました。

成人健診課

2 女性のための各種健康診査を実施しました

◇「乳がん検診」「子宮がん検診」「女性の基本 35」を実施しました

※「女性の基本 35」は、35歳の女性を対象とした柏市独自の検診です。
血液・血圧・尿・骨密度について、指定医療機関で個別検診します。

女性の健康支援として、がん検診（乳がん、子宮がん）と出産・子育て期の健康状態の確認のための検診（女性の基本 35）を実施しました。

成人健診課

■ 柏市オフィシャルウェブサイト 柏市の健康診査に関するページ

http://www.city.kashiwa.lg.jp/health_hospital/mainmenu/575/index.html

3 がん検診時等に保育を実施しました

◇乳がん・子宮がん検診時に保育を実施しました

子育て中の女性の健康支援の一環として、乳がん検診時と子宮がん検診時に保育を実施しました。

成人健診課

推進状況

「女性の基本 35」の受検者数

平成 23 年度	⇒	平成 27 年度	平成 27 年度目標
<u>3 1 2 人</u>		<u>3 6 1 人</u>	<u>5 5 0 人</u>

乳がん検診の受検者数（後期計画新設目標）

平成 23 年度	⇒	平成 27 年度	平成 27 年度目標
<u>23,931 人</u>		<u>24,779 人</u>	<u>26,000 人</u>

子宮がん検診の受検者数（後期計画新設目標）

平成 23 年度	⇒	平成 27 年度	平成 27 年度目標
<u>20,663 人</u>		<u>16,163 人</u>	<u>27,000 人</u>

※ 25年度から、受検間隔が2年に1回となった。

主な取り組み

- ・エイズ相談やH I V等抗体検査（H I V，クラミジア，梅毒，B型肝炎，C型肝炎）実施，普及習慣や世界エイズデーに併せた啓発，イベント会場での普及啓発（保健予防課）
- ・思春期保健関係者会議，健康教育実施（地域健康づくり課，学校保健課）
- ・女性の健康診査普及啓発としてリーフレットを作成し，母子保健事業，各種イベント等で配布（成人健診課）
- ・家庭婦人スポーツ大会の開催（スポーツ課）

今後の取り組み

- ・各種健康診査（乳がん検診，子宮がん検診）の継続実施（成人健診課）
- ・40歳から70歳までの5歳刻みの女性対象に骨粗しょう症検査を開始（成人健診課）
- ・危険ドラッグ等の薬物乱用防止教育を推進（学校保健課）
- ・医師会，助産師会，市民団体，P T A等との連携による，公立小・中学校で思春期保健健康教育推進（地域健康づくり課，学校保健課）
- ・にこにこダイヤルかしわ（妊娠，出産，子育ての悩み相談）（地域健康づくり課）
- ・ノースモッ子作戦（学校保健課・地域健康づくり課）

基本課題Ⅱ 教育・学習（男女平等意識をつくる）

目標3 男女平等の視点に立った意識改革と社会制度・慣行の見直し

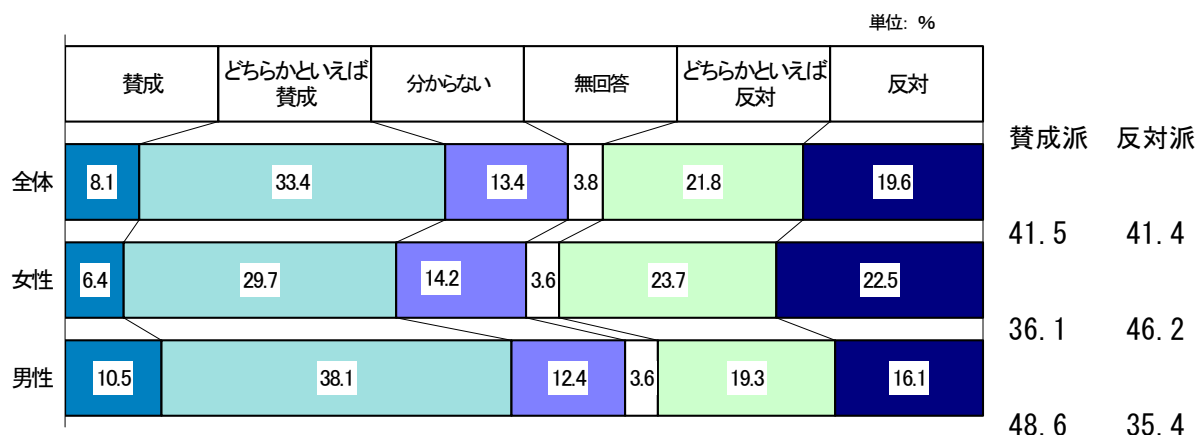
- (1) 男女平等意識をつくるための啓発活動の充実
- (2) 男女平等の視点に立つ行政職員の育成
- (3) 社会制度・慣行の見直し

状況

平成21年度と平成26年度の意識調査結果を比較すると、「男は仕事、女は家庭」といった固定的な性別役割分担意識について、「賛成」・「どちらかといえば賛成」をあわせた「賛成派」が男女とも約6ポイントほど増加しています。また、平成26年度の調査をみると、女性の「賛成派」と「反対派」の差に対して、男性の「賛成派」と「反対派」の差が大きくなっています。

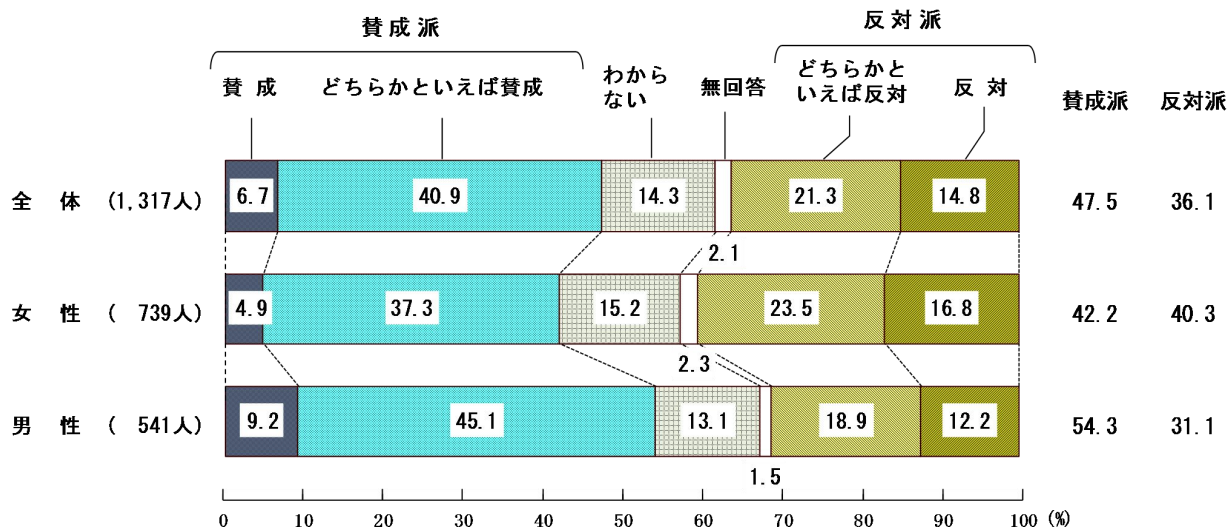
「男は仕事、女は家庭」という考え方について（平成21年度市民意識調査）

調査対象：柏市在住の20歳以上の男女
標本数：4,000人 調査方法：郵送による調査



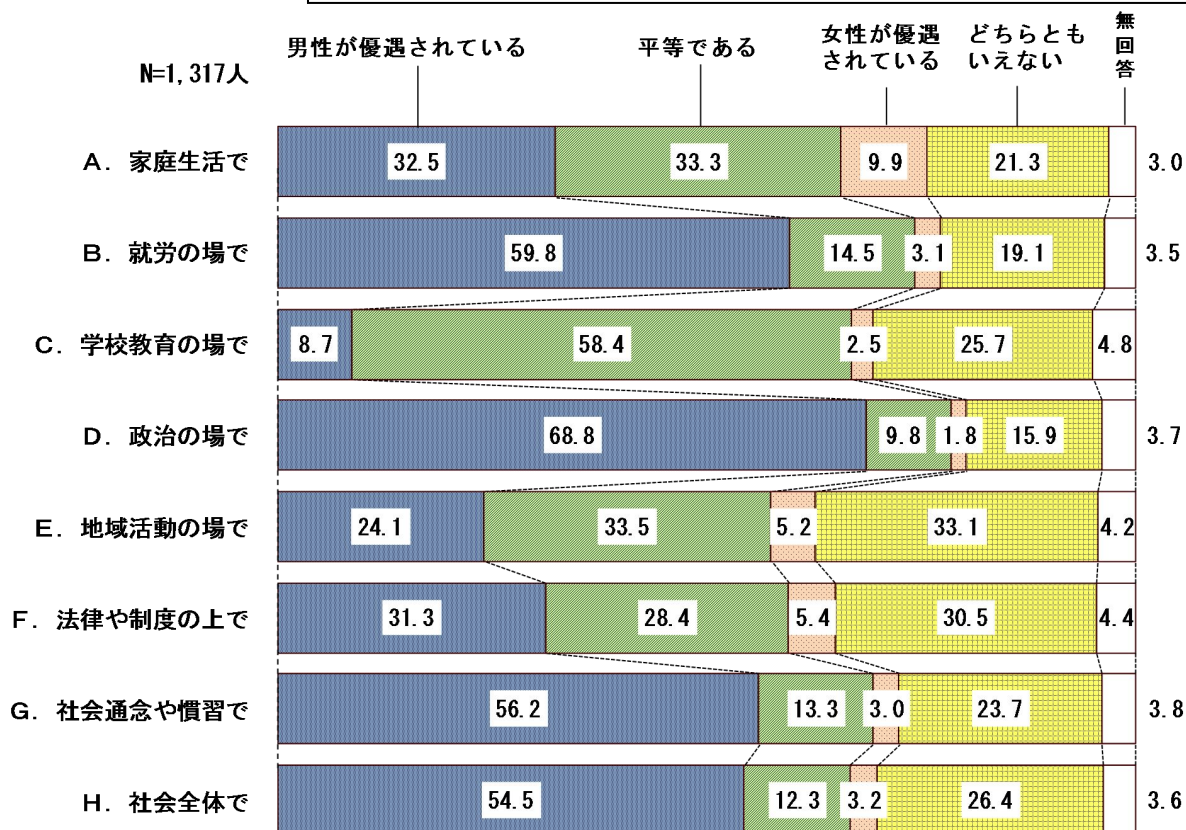
「男は仕事、女は家庭」という考え方について（平成26年度市民意識調査）

調査対象：柏市在住の20歳以上の男女
標本数：4,000人 調査方法：郵送による調査



男女の平等感について（平成２６年度市民意識調査）

調査対象：柏市在住の２０歳以上の男女
標本数：４,０００人
調査方法：郵送による調査



平等であるとの回答がもっとも多かったのは「学校教育の場」でした。逆に「就労の場」「政治の場」「社会通念や慣習」「社会全体」で「男性が優遇されている」との回答が半数を超えました。未だに多くの分野で男性が優遇されていると感じられているようです。

特に取り組んだこと

1 柏市男女共同参画講演会を開催しました

◇柏市男女共同参画講演会（平成28年3月19日）

固定的な意識にとらわれず，多様な生き方を認め合い，多様な選択ができるように，男女共同参画について理解を深めるための講演会を開催しました。

男女共同参画室



テーマ「キッチンからはじめる家族の絆
～みんなで楽しむ家事・育児～」

講師 料理研究家 コウケンテツ氏

日時 平成28年3月19日(土)14:00-15:40

場所 アミュゼ柏 クリスタルホール

参加者 207名

「この世で一番大切なのは食べること。自分も家族も仲間をも幸せにする食事に，積極的に関わって」と語るコウ氏。

2 男女共同参画の視点に立った人材の登用，配置，育成を行いました

◇性別にとらわれない採用，女性職員の積極的な職務配置

職員の採用は，性別にとらわれることなく，能力や人物を重視して行いました（平成28年4月1日付採用112人のうち女性71人）。また，女性職員の計画的な育成を図るため，管理職に求められる業務経験や能力開発の機会が確保されることを意図した人事配置を行いました。

人事課

◇男女共同参画の視点に立った職員の育成

仕事と家庭の（子育て）の両立に関する意識啓発として，市職員を対象に，新規採用職員（135人）に次世代育成支援対策に関する研修を実施しました。新任所属長（30人）にハラスメント研修，階層別研修（主事クラス68人）で男女共同参画に関する研修を実施しました。また，産前休暇取得者とその配偶者（年4回，38人）に休暇制度等の説明会を開催しました。

人事課

推進状況

「男は仕事，女は家庭」といった固定的な性別役割分担意識を持たない人の割合

平成 21 年度意識調査	平成 26 年度意識調査	平成 27 年度目標
<u>41.4%</u>	⇒ <u>36.1%</u>	<u>50%</u>

「社会全体において，男女が平等になっている」と感じる人の割合

平成 21 年度意識調査	平成 26 年度意識調査	平成 27 年度目標
<u>11.8%</u>	⇒ <u>12.3%</u>	<u>20%</u>

啓発事業への若い世代（20～40 歳代）の参加割合（シンポジウム）

平成 23 年度	平成 27 年度	平成 27 年度目標
<u>23%</u>	⇒ <u>33.3%</u>	<u>50%</u>

主な取り組み

- ・ 情報紙の作成，インターネット男女共同参画センターによる情報発信・学習情報の提供，講座の実施（男女共同参画室）

今後の取り組み

- ・ 男女共同参画センターで，子育て世代や若者対象の啓発事業を実施（男女共同参画室）

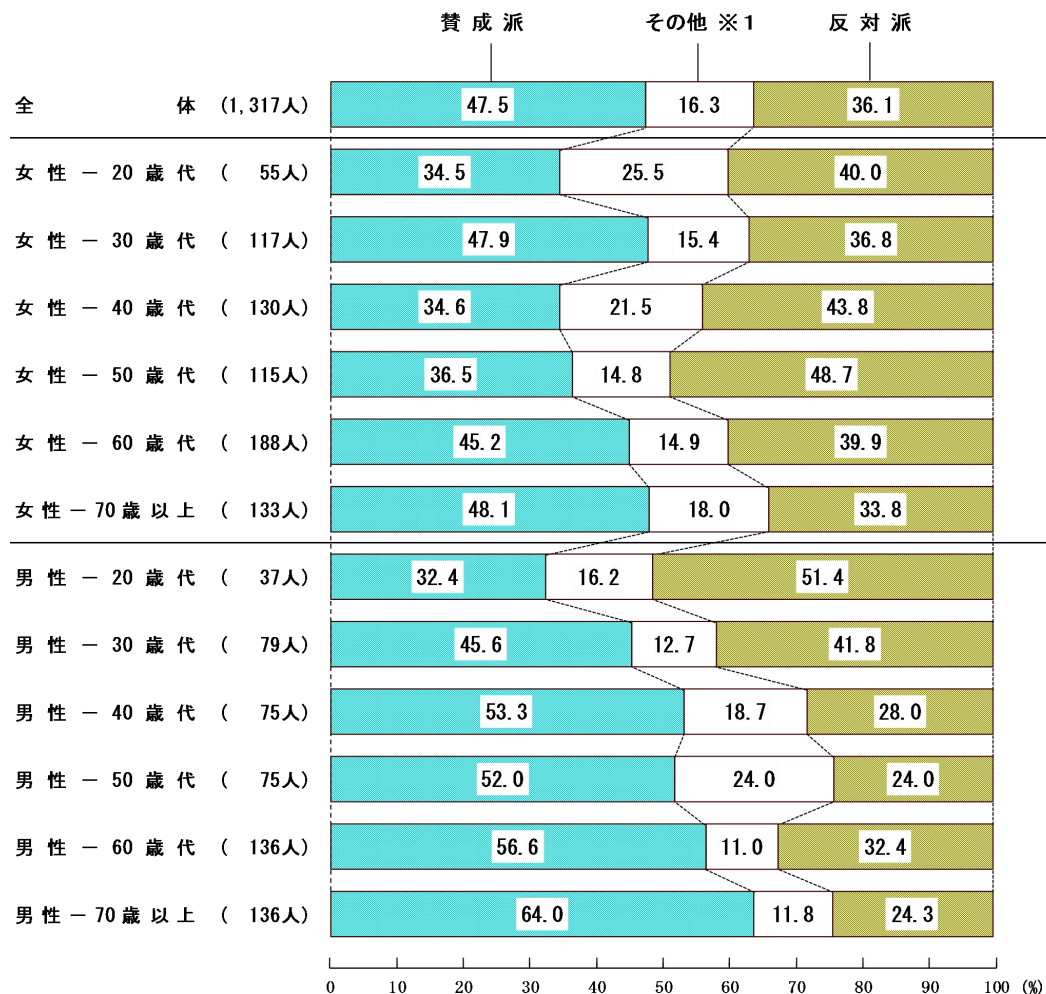
目標 4 あらゆる場での男女平等教育・生涯学習の推進

- (1) 家庭教育における男女平等意識の啓発
- (2) 保育園・市立幼稚園における男女平等教育の推進
- (3) 学校における男女平等教育の推進
- (4) 社会における男女平等に関する生涯学習の推進

状況

職場や家庭、地域社会においては、「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識、制度・慣行の中に存在する女性への差別や偏見などが依然として残っていることがうかがえ、平等意識は十分に浸透しているとはいえない状況です。

年齢ごとの性別にみる性別で役割を分担する考え方（「男は仕事、女は家庭」という考え方について）



「柏市男女共同参画に関する市民意識調査」平成26年度

調査対象：柏市在住の20歳以上の男女

標本数：4,000人

調査方法：郵送による調査

※「その他」については「わからない」と「無回答」を指します。

性別にみる「男女が平等になっていると感じる分野」について

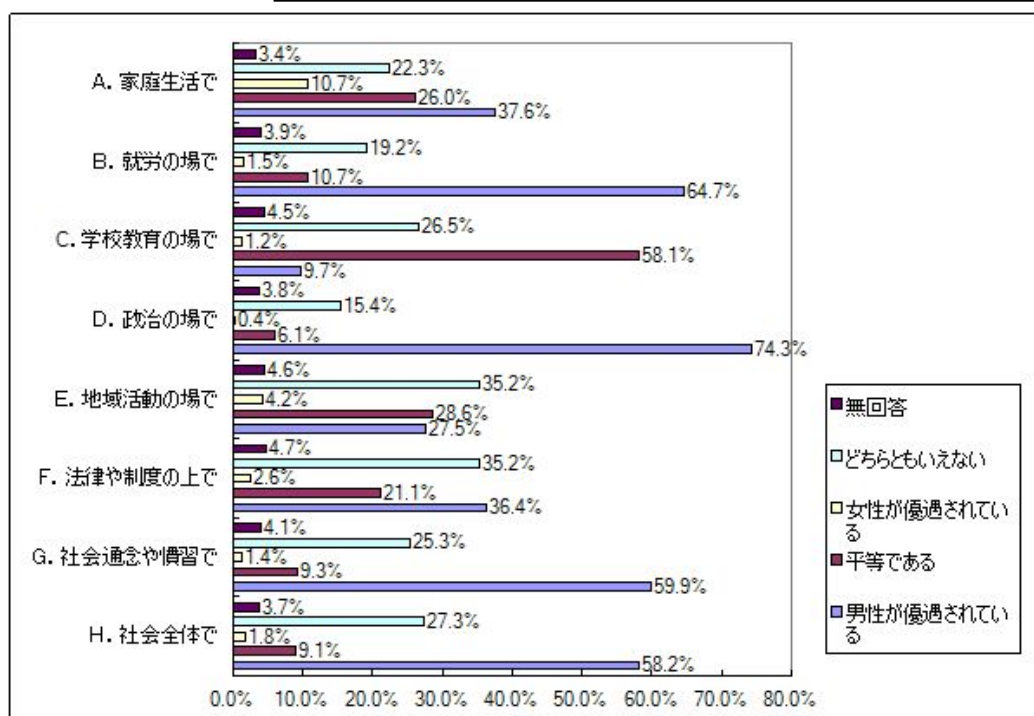
(平成26年度市民意識調査)

調査対象：柏市在住の20歳以上の男女

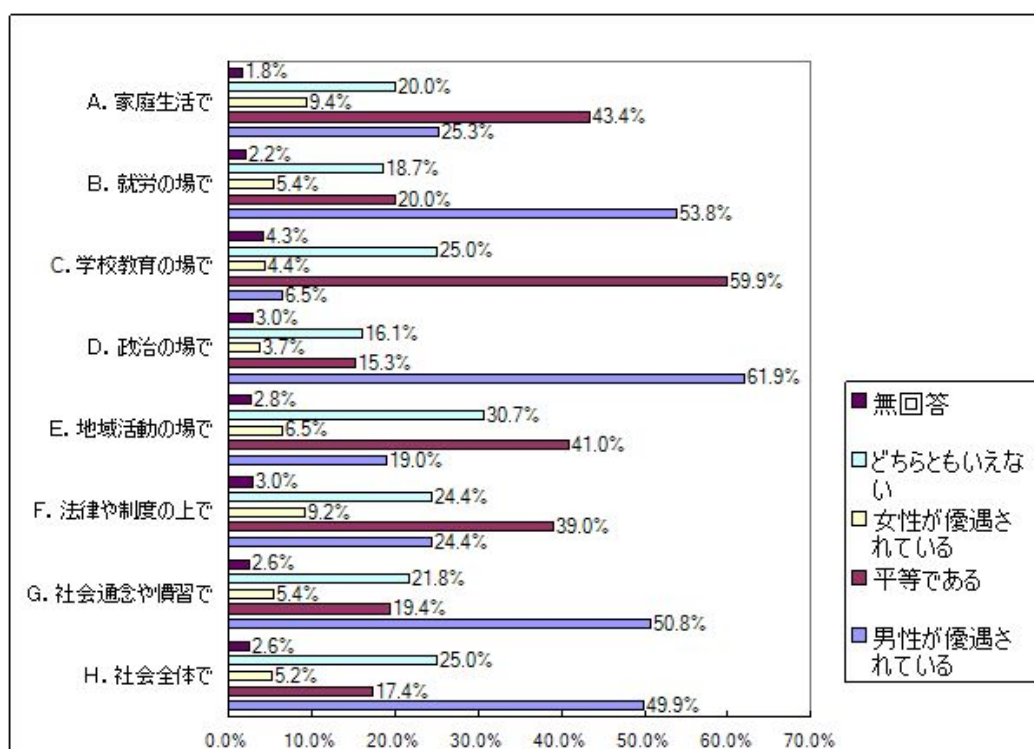
標本数：4,000人

調査方法：郵送による調査

◎女性



◎男性



全体 (N1,317人)

女性 (N739人)

男性 (N541人)

性別に見ると、全ての分野で「男性が優遇されている」との回答が「女性が優遇されている」との回答を上回っています。また、男女ともに「男性が優遇されている」との回答が5割を超えたのは[B. 就労の場で], [D. 政治の場で], [G. 社会通念や慣習で]の3分野となっています。

特に取り組んだこと

1 教職員への啓発資料を配布しました

◇啓発資料「柏市『男女共同参画をめざす教育』」を配付

市内各小中学校に「柏市『男女共同参画をめざす教育』」を配付し、日常の教育活動の中で「隠れたカリキュラム」の点検と見直しを進めました。また、初任者研修の「道德教育」の項目で「柏市男女平等教育実践事例集」をとりあげ、男女平等教育の啓発を図りました。

指導課

2 男女平等教育に関する学習資料の提供を行いました

◇図書館で関係資料を収集，貸出・情報提供を実施

男女共同参画週間，女性に対する暴力をなくす運動期間，男女共同参画講演会開催時にあわせて，図書館ロビー及び会場等で企画展示を行いました。関連資料展示やブックリストの提供，パンフレット等の配布を行い，啓発に努めました。

庁内連携

3 生涯学習情報の提供を行いました

◇生涯学習システム「らんらんかしわ」から学習情報を発信

生涯学習システム「らんらんかしわ」で生涯学習の情報を集約，出前講座や生活に密着した講座など，民官学の幅広い情報を提供しました。生涯学習ボランティアシステム（学んだ知識や技術を活かしてボランティア活動をする人材バンクシステム）をとおして情報を提供し，90件の活動実績がありました。

生涯学習課

■ 柏市生涯学習情報サイト「らんらんかしわ」

<https://ranran.city.kashiwa.lg.jp/>

推進状況

「学校教育の場において男女が平等になっている」と感じる人の割合

平成 21 年度意識調査

平成 26 年度意識調査

平成 27 年度目標

53.9%

⇒

58.4%

75%

主な取り組み

- ・生涯学習の場の提供。男女共に参加しやすいよう、日曜日にも講座を開催（公民館）
- ・日常保育時に男女平等の視点に立ち、社会的性別役割にとらわれない保育を実施（保育運営課）

今後の取り組み

- ・男女共同参画の課題を取り上げた講座の実施（男女共同参画室）
- ・研修会などにおける教職員への男女平等教育の啓発（指導課）
- ・一人ひとりの個性を大切にした保育の実践（保育運営課）
- ・社会的性別役割意識について、保育者や保護者の言葉かけや行動の見直しと点検（保育運営課）

基本課題Ⅲ 家庭・地域（男女の生活者としての自立をすすめる）

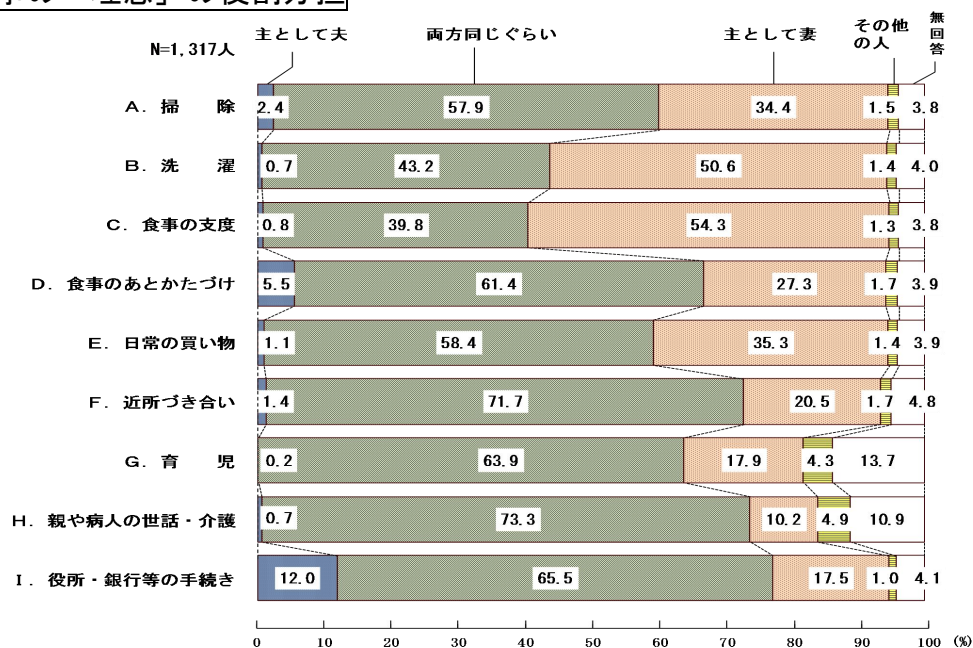
目標 5 男女が共に参画する家庭・地域づくり

（１）家庭生活・地域活動への男女共同参画の推進

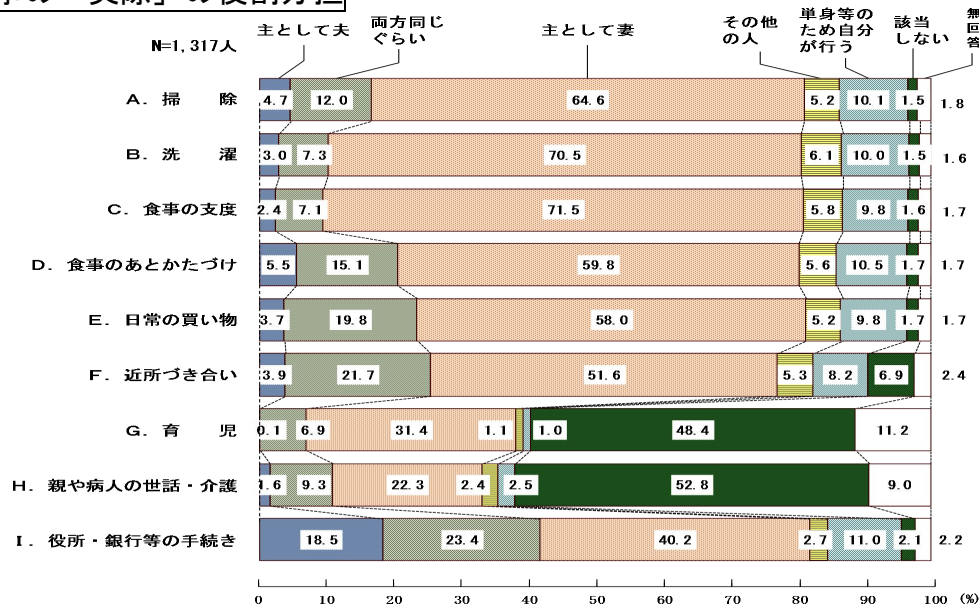
状況

日常の家事・育児・介護の分担は、夫婦で分担することを理想と考えている人が多い傾向に対し、現実には主に妻の役割になっている状況がうかがえます。

家事の「理想」の役割分担



家事の「実際」の役割分担



「柏市男女共同参画に関する市民意識調査」平成26年度

特に取り組んだこと

1 地域づくりのために市民活動事業に取り組みました

◇協働事業提案制度，柏市民公益活動補助金制度

市民団体からの提案に基づき，協働で事業を行いました。平成27年度は2事業が選出され，内1事業が平成28年度に取り組むこととなりました。また，市民公益活動育成補助金について，12団体への交付を決定しました。

庁内連携

推進状況

「家庭生活において，男女が平等になっている」と感じる人の割合

平成21年度意識調査

33.7%

⇒

平成26年度意識調査

33.3%

平成27年度目標

45%

ウェルカムベビー（両親学級）の参加人数

平成23年度

1,036人

⇒

平成27年度

1,105人

平成27年度目標

1,200人

主な取り組み

- ・地域活動，市民活動への参画促進（協働推進課，地域支援課）
- ・ワークライフバランス関連の情報収集及び提供による意識啓発（商工振興課）
- ・出産育児に係る各種休暇制度を周知する「育MEN応援プラン」の作成（人事課）
- ・地域包括支援センターで男性介護者交流会，独居男性交流会を実施
（福祉活動推進課）

今後の取り組み

- ・家庭生活や家事分担見直しの啓発の検討（男女共同参画室）
- ・市民による地域づくりのための情報提供やイベント開催（協働推進課）
- ・ママパパ学級，ママパパクッキングの実施（地域健康づくり課）

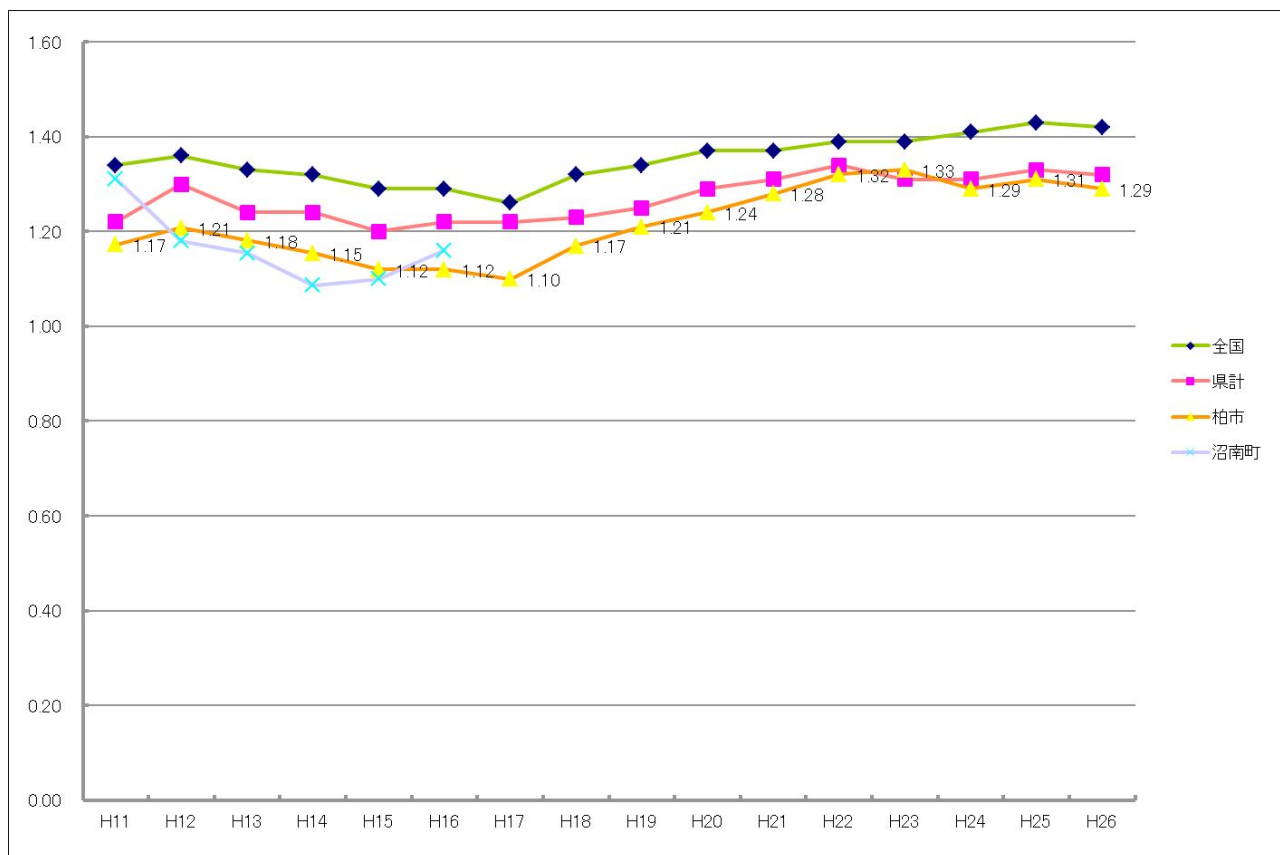
目標6 男女が安心して子育てできる環境づくり

(1) 子育てしやすいまちづくり

状況

本市の出生率は、全国の平均を下回っている状況です。

合計特殊出生率



千葉県健康福祉部健康福祉指導課調べ

特に取り組んだこと

1 保育サービス、子育て相談など子育てしやすい環境づくりに取り組みました

◇子育て環境整備

子育てと就労が両立できるよう、こどもルームのほか、延長保育、保育ルーム、病後児保育、駅前認証保育などの保育サービスの充実を図りました。また、17カ所の地域子育て支援センターで子育てサロン、子育てサークルの育成を行いました。子育てや子どもの健康に関する相談を実施しました。

庁内連携

2 子育てに関する情報を発信しました

◇かしわこそだてガイドを発行、「はぐはぐ柏」にブログコーナーを設置

市内5地域ごとの遊び場情報などをまとめた「かしわこそだてガイド」を出生・転入時に配布しました。また、子育てサイト「はぐはぐ柏」（スマートフォン対応）のブログコーナーで柏市在住の母親による「柏っ子ママのお出かけレポート」など、地域に密着した市民参加型の情報発信を行いました。

子育て支援課

推進状況

保育園の待機児童数

平成 23 年度
1 5 4 人

⇒

平成 27 年度
0 人

平成 27 年度目標
0 人

目標
達成!

通常保育・延長保育事業

平成 23 年度
3 8 ケ所

⇒

平成 27 年度
5 8 ケ所

平成 27 年度目標
4 2 ケ所

目標
達成!

休日保育事業

平成 23 年度
2 ケ所

⇒

平成 27 年度
2 ケ所

平成 27 年度目標
4 ケ所

目標
達成!

こどもルーム（学童保育）の整備（こどもルーム施設整備計画）

平成 23 年度
3 8 ケ所

⇒

平成 27 年度
4 1 ケ所

平成 27 年度目標
4 1 ケ所

地域子育て支援センター

平成 23 年度

14ヶ所

⇒

平成 27 年度

17ヶ所

平成 27 年度目標

19ヶ所

一時保育実施数

平成 23 年度

12ヶ所

⇒

平成 27 年度

30ヶ所

平成 27 年度目標

22ヶ所

目標
達成!

主な取り組み

- ・ 早期支援コーディネーター配置事業（教育研究所）
- ・ 私立認可保育園等の整備（保育整備課）
- ・ 子育て相談と関連情報の発信（こども福祉課）
- ・ こどもルームの増設や新設による定員増（学童保育課）
- ・ 新生児訪問事業での健康教育および相談（地域健康づくり課）

今後の取り組み

- ・ 私立認可保育園，幼保連携認定こども園の整備（保育整備課）
- ・ 学校敷地内へのこどもルーム移設を推進（学童保育課）
- ・ ファミリーサポートセンターのPRと拠点型一時預かり保育の実施（子育て支援課）

目標 7 高齢者・障害者への社会的支援

(1) 高齢者・障害者への社会的支援

状況

平成 27 年 10 月 1 日現在の柏市の住民基本台帳人口 408,787 人のうち、65 歳以上の高齢者人口は、過去最高の 98,844 人（24%）となりました。

特に取り組んだこと

1 介護予防事業など高齢者や障害者の支援に努めました

◇介護予防事業、介護サービスの充実

介護予防・日常生活総合支援事業を平成 28 年 2 月に開始しました。また、地域包括支援センターを 2 ケ所増設し、評価事業を行うとともに研修や職種別会議等による質の向上、人材育成を行いました。

福祉活動推進課

2 消費者トラブル防止のために講座や相談を行いました

◇消費者講座・消費者相談

高齢者が被害をうけやすい消費者トラブルの未然防止を目的に消費者講座を開催しました（18 回）。消費生活コーディネーターを対象に研修を実施し、地域でのリーダー活動を支援しました。また、消費生活相談員による消費生活相談を行いました（相談件数 3,442 件）。

消費生活センター

推進状況

「小規模多機能型居宅介護（柏市高齢者いきいきプラン 21 より）

平成 23 年度

6 ケ所

⇒

平成 27 年度

11 ケ所

平成 27 年度目標

11 ケ所

目標
達成!



目標
達成!

認知症対応型共同生活介護（柏市高齢者いきいきプラン21より）

平成23年度

330床

⇒

平成27年度

423床

平成27年度目標

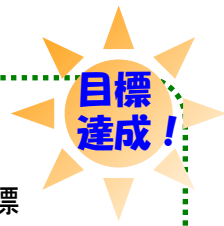
423床

22ヶ所

⇒

27ヶ所

27ヶ所



目標
達成!

認知症対応型通所介護（柏市高齢者いきいきプラン21より）

平成23年度

3ヶ所

⇒

平成27年度

3ヶ所

平成27年度目標

3ヶ所

主な取り組み

- ・ 重度身体障害者の自宅の住宅改修等の援助（高齢者支援課）
- ・ 65歳以上世帯の自宅の住宅改修等の援助（介護保険課）
- ・ 住宅改修アドバイザー派遣制度による指導と助言（介護保険課）
- ・ 柏市バリアフリー道路特定事業計画を改定（平成27年3月）（道路総務課）
- ・ 講座等，介護予防事業の実施（福祉活動推進課）
- ・ 障害（者・児）への支援サービス実施（障害福祉課，障害者相談支援室）

今後の取り組み

- ・ 介護予防センタープログラムの充実，関係機関との連携強化（福祉活動推進課）
- ・ 駅やバス停などのバリアフリー化の推進（庁内連携）

基本課題Ⅳ 就労（働く場における男女平等と女性の経済的自立を確保する）

目標 8 職場における男女平等の推進

（１）雇用の場における男女平等の推進

目標 9 女性の職業能力の開発と就労機会の拡大

（１）職業能力の向上と経済的自立に向けた支援

状況

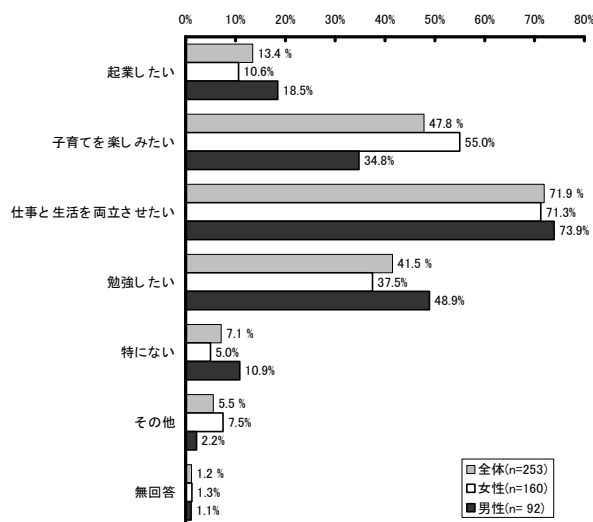
就労の場では、法整備が進んでいく一方で、雇用形態の傾向の違いや給与格差などがあり、能力活用が十分でない傾向が伺えます。

また、女性は、結婚・妊娠・出産・育児・介護等のため退職せざる得ない場合や、希望する働き方で再就職できていない場合があります。平成24年度に行った20代を対象とした市民意識調査では「これからやってみたいこと」で「仕事と家庭の両立をさせたい」との回答が、「今悩んでいること」で「仕事のこと」との回答が一番多い状況が伺えました。若者にとって「仕事」が意識の中で多くを占めている状況が伺えます。

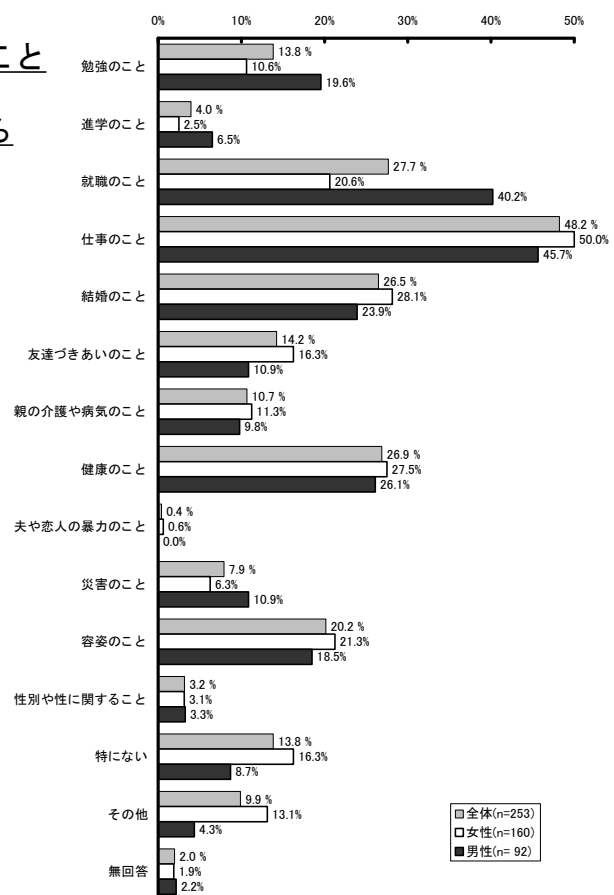
今悩んでいること

（平成24年度市民意識調査）から

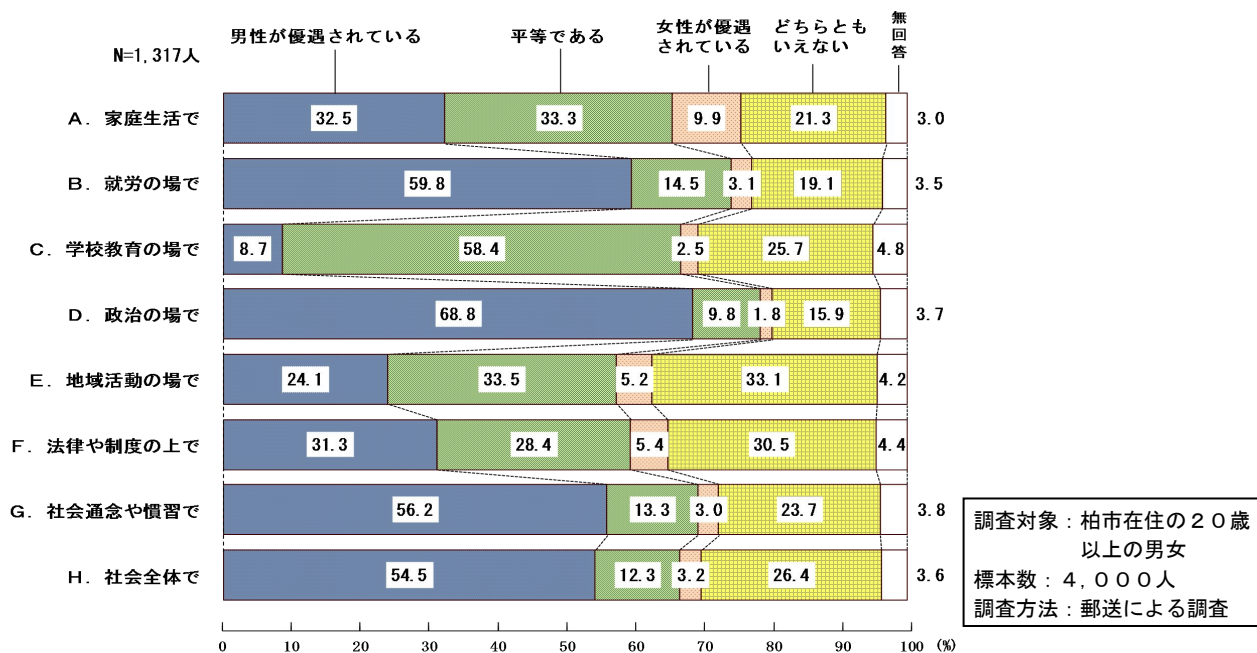
これからやってみたいこと



調査対象：柏市在住の20歳の男女
標本数：1,800人
調査方法：郵送による調査（1,000人）
インターネット調査（800人）



分野別の男女平等感



「柏市男女共同参画に関する市民意識調査」平成26年度

女性の働き方の理想と現実

(%)

		総数 (人)	女性の現実の働き方								
			仕事を 持たない	結婚する までは 仕事を持つ	子どもが できる までは 仕事を持つ	子どもが できても、 ずっと 仕事を 続ける	子どもが できたら 仕事を やめ、 大きくな ったら 再び仕事 (フルタイム) を持つ	子どもが できたら 仕事を やめ、 大きくな ったら 再び仕事 (パートタイム) を持つ	家族の 介護を する ときは、 仕事を やめる	その他	無 回 答
全 体		1,037	9.9	10.1	8.9	16.2	9.7	32.3	2.8	4.7	5.3
女性 の 働 き 方 の 理 想	仕事を 持たない	7	28.6	14.3	—	28.6	14.3	14.3	—	—	—
	結婚する までは 仕事を持つ	53	13.2	45.3	3.8	5.7	5.7	9.4	—	7.5	9.4
	子どもが できる までは 仕事を持つ	54	9.3	14.8	33.3	5.6	5.6	24.1	—	1.9	5.6
	子どもが できても、 ずっと 仕事を 続ける	256	8.2	7.8	7.0	43.0	4.7	18.0	1.6	5.1	4.7
	子どもが できたら 仕事を やめ、 大きくな ったら 再び仕事 (フルタイム) を持つ	226	9.7	9.7	8.0	8.8	27.4	29.2	0.9	4.0	2.2
	子どもが できたら 仕事を やめ、 大きくな ったら 再び仕事 (パートタイム) を持つ	334	10.2	6.6	8.7	4.8	3.6	54.8	3.9	2.4	5.1
	家族の 介護を する ときは、 仕事を やめる	22	9.1	9.1	4.5	9.1	—	22.7	36.4	—	9.1
	その他	60	10.0	5.0	10.0	16.7	8.3	20.0	1.7	21.7	6.7

調査対象：柏市在住の20歳以上の男女
標本数：4,000人
調査方法：郵送による調査

「柏市男女共同参画に関する市民意識調査」平成26年度

※網掛けのある部分が、理想どおりに働けている人の割合を示しています。

どのような働き方を理想としていても、現実には理想どおりの働き方をしている人が多い結果となりました。しかし、「子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事（フルタイム）を持つ」を理想とする人は、現実には「大きくなったら再び仕事（パートタイム）を持つ」が一番多くなっており、フルタイムを理想としながらパートタイムで働いている人が多い結果となりました。

特に取り組んだこと

1 啓発資料の配布、相談窓口の情報提供を行いました

◇関係機関や千葉県と連携した講座の実施

柏工業専門校と連携して就労に関する能力向上のための講座の実施や、ハローワーク、千葉県等関係機関と連携をとりながら就労のサポートを行いました。 商工振興課

2 農業経営への女性の参画支援を行いました

◇農業委員会だよりに女性コーナーを掲載

情報紙で女性農業者の活動を紹介しました。また、家族経営協定を2件締結し、平成27年度までの締結数は23件となりました。 庁内連携

女性コーナー

今回は、平成24年10月に、若い女性が一人で、利根遊水地の畑を借りて、就農した岩立友紀子さんを紹介します。

大学を卒業して、企業で勤めていましたが、その仕事に閉塞感を覚え、転職を決め、いろいろ考え抜いた結果「食べ物を作って生きていく」と覚悟を決めました。

半年間、週に一回の体験農業を経験してみました。自分分で育てているという実感がわかず、一年半で会社を退職して本格的に宮崎の農業法人で研修を始めました。

そこで有機無農薬の少量多品目栽培を学び、一年後帰郷し、今の畑を借りて、一人で野菜作りを始めました。

最初は手探りで、一年目は自分の畑で、研修のつもりで一〇〇種類以上を栽培してみましたが、今は、夫婦の協力も得ながら、その中で厳選

有機無農薬栽培での野菜作りや、畑の管理など大変だとは思いますが、宅配やマルシェで、めずらしい野菜などを売しみに待っている人たちがいるので、長く続けていってほしいと思います。

(編集委員長 谷田貝 和代)



マルシェ(有機野菜市：市川市南行徳で)

柏市農業委員会だより38号

推進状況

「就労の場において、男女が平等になっている」と感じる人の割合

平成21年度意識調査	⇒	平成26年度意識調査	平成27年度目標
14.2%		14.5%	20%

家族経営協定の締結家族数

平成23年度	⇒	平成27年度	平成27年度目標
18件		23件	20件

目標達成!

※家族経営協定とは、家族農業経営にたずさわる各世帯員が意欲とやり甲斐を持って経営に参画できる魅力的な農業経営を目指し、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて、家族間の十分な話し合いに基づき取り決めるものです。

主な取り組み

- ・ 女性農業者の活動等の紹介，千葉県女性農業委員の会の研修への参加
(農政課・農業委員会事務局)
- ・ 就職希望者への支援として講座や就職相談会を実施（商工振興課）

今後の取り組み

- ・ 労働に関する情報発信や講座実施（庁内連携）
- ・ 女性農業委員の登用への働きかけ（庁内連携）
- ・ 家族経営協定による女性農業者の地位の向上とPR（庁内連携）

目標 10 男女が職業生活と家庭生活を両立できる環境づくり

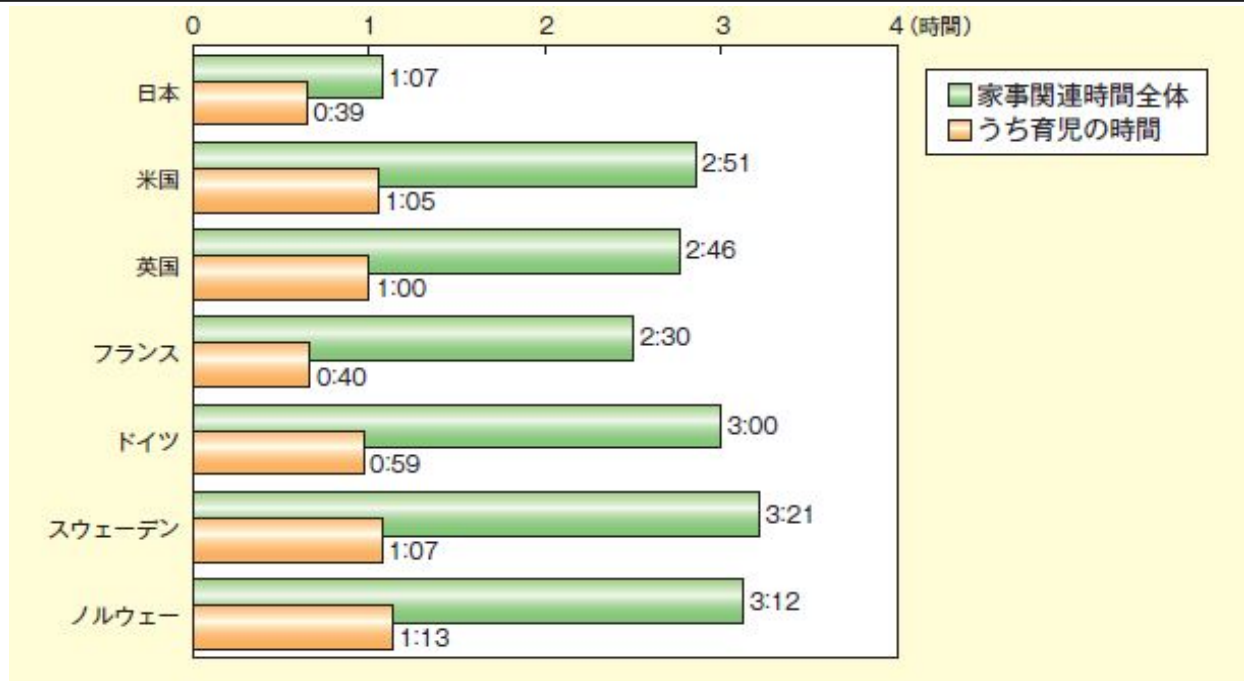
- (1) 家庭生活・地域活動への男女共同参画の推進
- (2) 保育サービスの充実
- (3) 介護が必要な家庭への支援
- (4) 女性が働き続けられるための調査・研究

状況

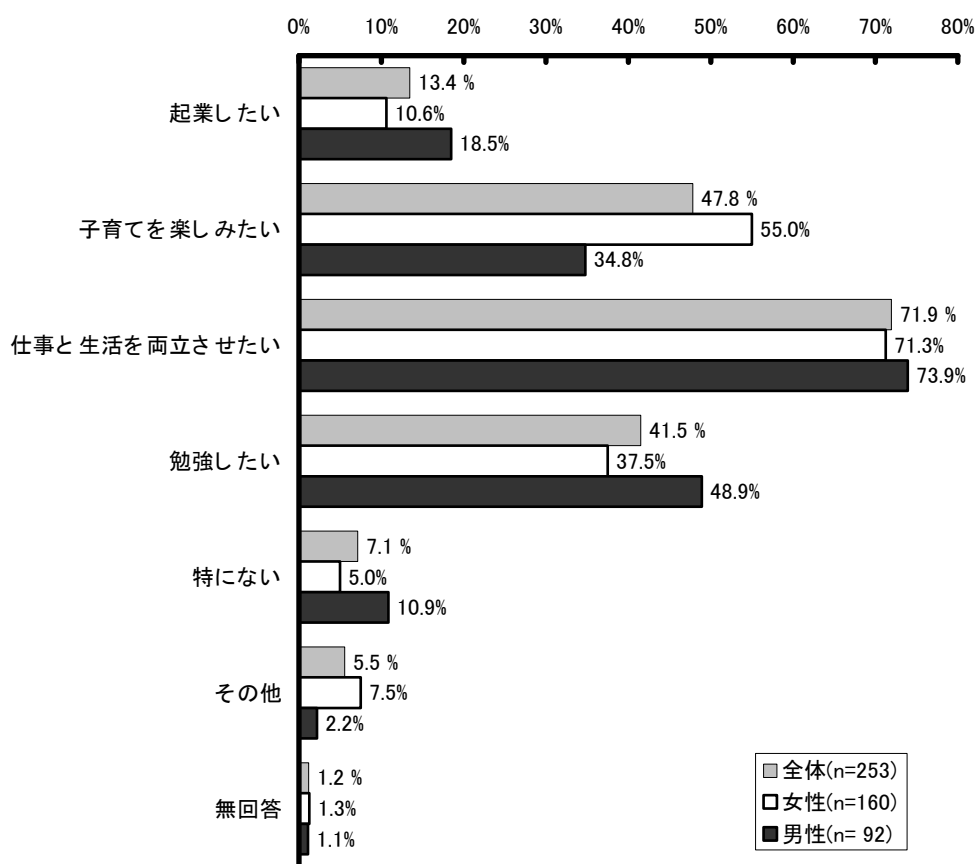
我が国では、6歳未満の子どもを持つ夫の家事・育児関連に費やす時間（1日当たり）は67分と他の先進国と比較して低水準にとどまっています。

20代を対象にした市民意識調査では、男女共に仕事と家庭の両立をやってみたいと思う人が多いことがわかりました。

6歳未満児のいる夫の家事・育児関連時間（1日あたり）総務省「社会生活基本調査」（平成23年）



これからやってみたいこと（平成24年度市民意識調査）



調査対象：柏市在住の20歳代の男女
 標本数：1,800人
 調査方法：郵送による調査（1,000人）
 インターネット調査（800人）

特に取り組んだこと

1 働く男女（ひと）と家庭に優しい企業表彰の選考を行いました

◇働く男女（ひと）と家庭に優しい企業表彰の選考

誰もが健康で心豊かな生活ができるよう、仕事と家庭の両立などを積極的に支援している企業の表彰を行う、「働く男女（ひと）と家庭に優しい企業表彰」の選考を行いました。平成27年度は2社から応募がありましたが、選考の結果、残念ながら企業表彰の受賞には至りませんでした。

男女共同参画室

推進状況

育児休業・介護休業をとりやすいと感じる人の割合

	平成 21 年度 意識調査		平成 26 年度 意識調査	平成 27 年度目標
育児休業	<u>29.6%</u>	⇒	<u>30.4%</u>	<u>40%</u>
介護休業	<u>23.4%</u>	⇒	<u>23%</u>	<u>30%</u>

主な取り組み

- ・パンフレットやHPによる，仕事と生活の両立に関する情報発信（庁内連携）
- ・保育サービスや介護サービスの提供による支援（庁内連携）

今後の取り組み

- ・講座や情報発信による，企業や市民へのワーク・ライフ・バランスの啓発
（庁内連携）

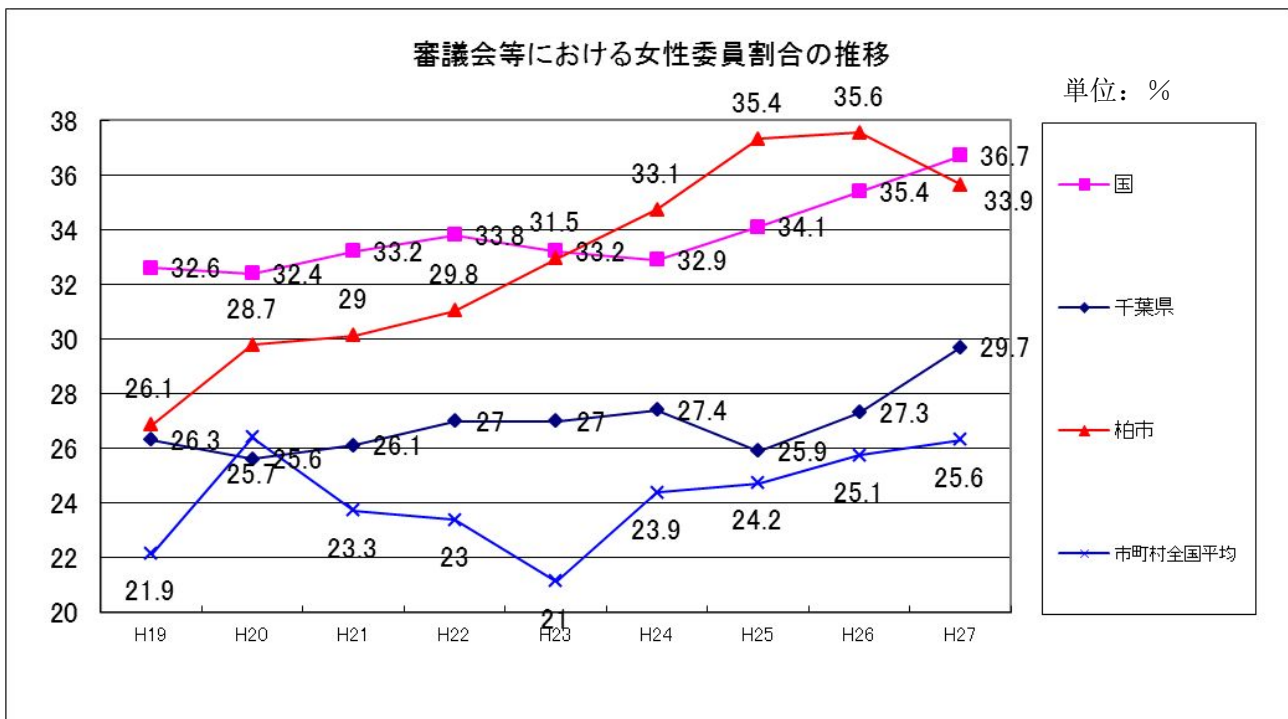
基本課題Ⅴ 社会参画（政策・方針決定の場へ男女が平等に参画する）

目標 11 政策・方針決定過程への女性の積極的参画と登用促進

- （１）政策・方針決定の場への女性の登用促進
- （２）女性のエンパワーメントに向けての環境整備

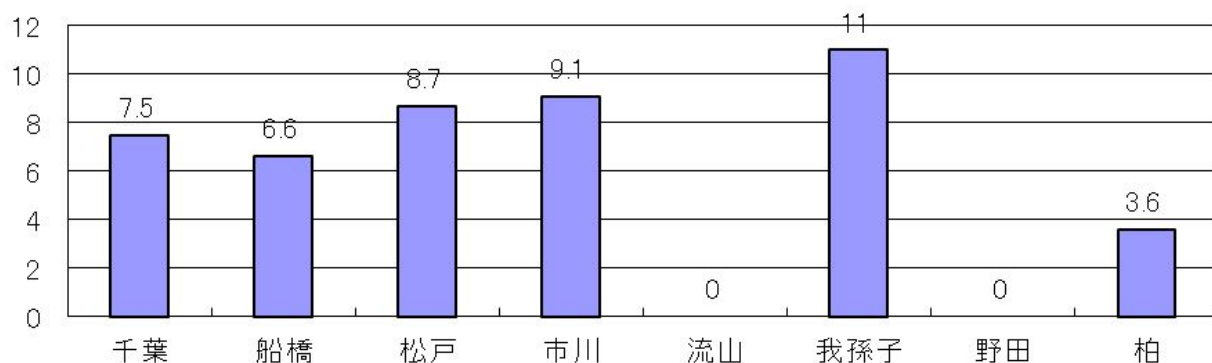
状況

市の政策・方針決定にかかわる審議会等委員は、男性委員が多い状況です。より暮らしやすいまちになるように、さまざまな分野で女性男性双方の幅広い意見を取り入れられることを目指しています。



平成 27 年 4 月 1 日現在（千葉県男女共同参画白書より作成）

管理職における女性割合（一般職）



平成 27 年 4 月 1 日現在（千葉県男女共同参画白書より作成）

特に取り組んだこと

1 各審議会における女性委員の登用状況を調査しました

◇各審議会における女性委員の登用状況調査

さまざまな分野で幅広い意見を取り入れ、より暮らしやすいまちになるように、各審議会委員に女性男性双方が登用されるよう働きかけを行うため、各審議会における女性委員の登用状況を調査しました。

庁内連携

◇公募委員候補者名簿登録制度を導入

より広く多様な市民の意見を市政に反映させるため、平成 27 年度から、審議会等委員を無作為抽出方式で募集し、名簿に登録した委員候補者から専任する「公募委員候補者名簿登録制度」を導入しました。

行政改革推進課

推進状況

「政治の場において、男女が平等になっている」と感じる人の割合

平成 21 年度意識調査

17.4%

⇒

平成 26 年度意識調査

9.8%

平成 27 年度目標

25%

審議会等における女性委員の割合

平成 23 年度	⇒	平成 27 年度	平成 27 年度目標
<u>30.9%</u>		<u>33.6%</u>	<u>35%</u>

町会・自治会長における女性の割合

平成 23 年度	⇒	平成 27 年度	平成 27 年度目標
<u>5.9%</u>		<u>6.2%</u>	<u>7%</u>

主な取り組み

- ・ 審議会担当課への公募及び性別配慮の働きかけ（行政改革推進課，男女共同参画室）
- ・ 女性職員の管理職への積極的登用（人事課）
- ・ 女性の能力活用等の啓発（男女共同参画室）
- ・ 町会，自治会等役員への女性の参画促進（地域支援課）

今後の取り組み

- ・ 引き続き，子育て中のかたが参画しやすいように全ての審議会で会議の際に保育を実施する（庁内連携）
- ・ 改選時期に合わせて女性男性双方が登用されるよう各担当課への依頼を継続（行政改革推進課・男女共同参画室）
- ・ 女性職員に対する管理職昇任選考受験への働きかけや育成
- ・ 女性職員のキャリア形成へ向けた研修等の検討（人事課・男女共同参画室）

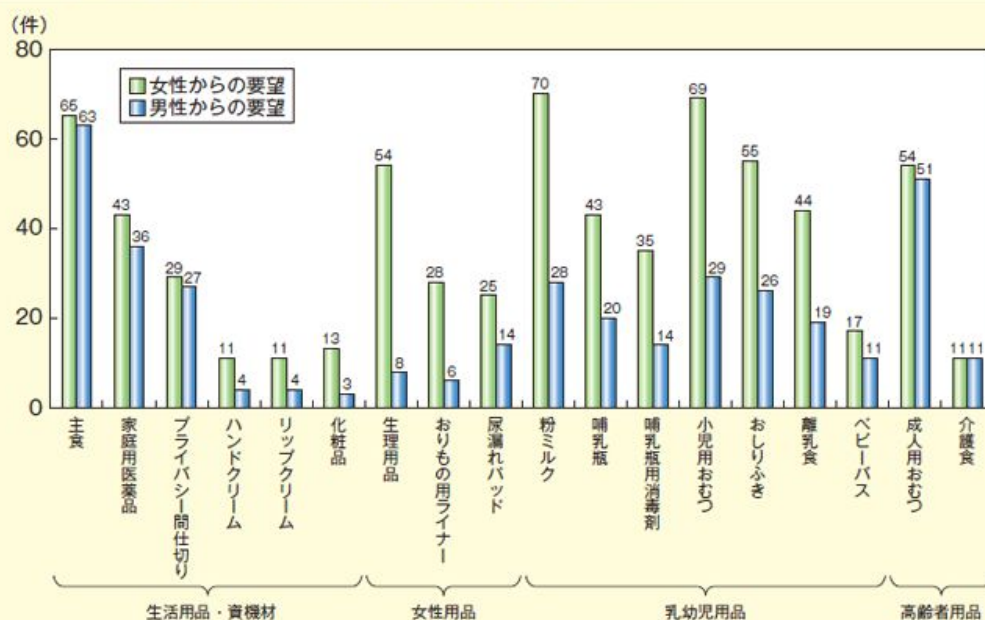
目標 12 防災・災害復興への女性の参画

- (1) 防災に関する政策・方針決定過程への女性の参画
- (2) 男女共同参画の視点に立った地域防災計画等の見直し
- (3) 地域における防災意識の向上および女性リーダーの育成

状況

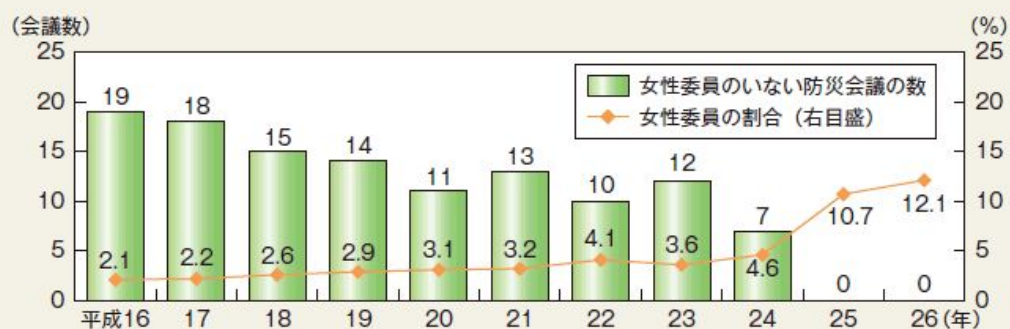
近年、日本でも阪神淡路大震災、東日本大震災といった大きな自然災害が起こり、女性は災害時に特に被害を受けやすいことが明らかになりました。今後、起こりうる災害への対策を男女共同参画の視点からも改めて見直していくために、防災に関する政策・方針決定過程への女性の参画を進めていく必要があります。

第1-特-18図 備蓄や支援物資に対する要望（男女別、複数回答）



(備考) 1. 内閣府「男女共同参画の視点による震災対応状況調査」(平成23年)より作成。
2. 調査対象は、被災3県(岩手県・宮城県・福島県)の108地方公共団体の男女共同参画担当。調査時期は、平成23年11月。

I-7-1図 都道府県防災会議数と委員に占める女性割合の推移



(備考) 1. 内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の進捗状況」より作成。
2. 原則として各年4月1日現在。

特に取り組んだこと

1 男女共同参画の視点に配慮した防災対策

◇防災会議等への女性の登用促進

防災会議・国民保護会議の委員への女性の登用促進を図り、平成27年度は、防災会議（5名／39名）、国民保護会議（6名／39名）の女性を委員に登用しました。

また、防災の現場に女性職員を積極的に登用し、平成27年度末で女性職員23名中、救急隊員10名、消火隊員4名、通信指令管制員1名を配置し、積極的登用に努めました。

防災安全課・消防局

推進状況

防災推進員における女性の割合

平成23年度	⇒	平成27年度	平成27年度目標
<u>8.6%</u>		<u>9.3%</u>	<u>15%</u>

主な取り組み

- ・男女共同参画の視点で考える防災の啓発（庁内連携）
- ・女性消防職員の積極的採用・登用（消防局総務課）

今後の取り組み

- ・防災講習会等を年に70回以上実施を目標に、女性の積極的な参加を呼びかける
(防災安全課)

基本課題Ⅵ 推進体制（「柏市男女共同参画推進計画」を積極的にすすめる）

目標 13 「男女共同参画推進計画」推進のための方策

- （１）庁内推進体制の整備・活用
- （２）男女共同参画推進センターの設置
- （３）計画の進行管理
- （４）関係機関との連携
- （５）男女共同参画都市の宣言
- （６）男女共同参画条例に関する情報収集
- （７）次期計画の検討

状況

男女共同参画の推進は、行政の各分野に関わりがあり、柏市男女共同参画推進計画に基き、全庁的に取り組んでいます。平成27年度は後期計画の最終年度にあたるため、これまでの成果確認を行いながら次期計画の検討作業を進め、平成28年3月に第三次柏市男女共同参画推進計画を策定しました。

また、柏市文化・交流複合施設条例を制定（平成27年3月）により、男女共同参画センター設置の決定を受けて、センターを中心とした啓発事業の実施や情報発信について検討し、市全体の男女共同参画を推進しています。

特に取り組んだこと

1 庁内推進体制の活用を行いました

◇男女共同参画推進計画の周知と庁内に向けた意識啓発

計画推進のため、柏市男女共同参画推進庁内連絡会議・幹事会の委員に個別に計画の配付や、情報紙の配付を行いました。また、委員対象に男女共同参画についての研修会を実施しました。男女共同参画推進審議会委員や柏市議会議員等、市政に携わる方々も幅広く聴講しました。

男女共同参画室



テーマ「笑って考える男女共同参画
～少子高齢社会を乗り越えよう～」

講師 東京大学大学院教授 瀬地山角氏

日時 平成28年1月15日（金）13:30-15:00

場所 中央公民館 講堂

参加者 60名

「ジェンダー視点を持つことで、社会や働き方などの様々な場面で新たな局面に気付くことができる」と、CMを例にしながら軽妙に語る瀬地山氏。

1 柏市男女共同参画推進センターの設置について検討しました

◇柏市文化・交流複合施設へのセンター設置を進めました。

男女共同参画推進のための拠点として、インターネット上にセンターを設置しているほか、柏市文化・交流複合施設でのセンター設置を検討し、より実質的な相談・情報・交流・学習等の場として活用していけるよう、整備を進めました。

男女共同参画室

柏市文化・交流複合施設 (2,324㎡)



主な取り組み

- ・ 第三次柏市男女共同参画推進計画の策定（男女共同参画室）
- ・ 後期計画期間の進行状況報告書の作成・公表（男女共同参画室）
- ・ 審議会や各施策における市民や市民団体との連携（庁内連携）

今後の取り組み

- ・ 柏市男女共同参画推進審議会への関係部署職員の出席
- ・ 庁内連絡会議の委員への研修会の実施（男女共同参画室）
- ・ 第三次柏市男女共同参画推進計画の進行管理（男女共同参画室）